

## 先進都市に対するアンケート調査結果

| 調査都市番号 | 事業の内容について                                 |  |   |   |   | 地元合意形成の方法について                               |                                 |   |   |
|--------|---|--|---|---|---|---|---------------------------------|---|---|
|        | 目的  | 内容                                     | 処理対象物   | 処理方式  | 施設規模                                    | 必要とした理由                                     | 対象範囲                            | 進め方   | 配慮した点   |
| 1      | 施設の老朽化・処理能力増強のための建て替え                     | 新清掃工場の整備<br>公認プールの新設                   | 7種類【可燃ごみ・PET減容後焼却へ回る分破碎可燃・下水汚泥・下水道し渣・衛生工場し渣他工場焼却灰】    | キルン式ガス化溶融炉                                  | 450t/日<br>150×3                         | 適地選定から施設の竣工まで概ね順調に推移                        | 自治会                             | 地域役員が毎年替わることから「地域を活性化する協議会」を設立  |   |
| 2      | 環境基本計画に基づく                                | 熱回収施設<br>リサイクルセンター<br>管理・余熱体験施設        | 可燃・焼却灰・不燃・粗大ごみ・資源ごみ                                   | シャフト式ガス化溶融炉                                 | 380t/日<br>190×2                         | し尿処理施設隣接地密接な関係の維持                           | 4自治会                            | 同様施設見学<br>現地見学会   | 約束事項の明文化<br>実行できない約束はしない                              |
| 3      | 現有焼却工場の老朽化に伴い、新しいごみ処理施設を建設                |  | 可燃ごみ・不燃ごみ(容器包装以外)・漂着ごみ・災害ごみ・有機汚泥                      | シャフト式ガス化溶融炉                                 | 255t/日<br>85×3                          | 現有工場建設時も地元合意を得ていた                           | 地元1自治会(6集落)                     | 地元の町長・議会・区等に対して協力依頼   | 新施設の建設地は、現有工場の隣接地                                     |
| 4      | 広域連合の広域処理計画に基づく                           | 可燃ごみ焼却施設1施設の建設                         | 可燃ごみ、可燃性粗大ごみ、可燃残さ並びに不燃残さ                              | ストーカ式焼却+灰溶融                                 | 焼却炉 450t/日程度<br>灰溶融炉 60t/日程度            | 建設地検討委員会が地域住民と計画段階から十分協議することを要望<br>まず、アセス同意 | 地元区(自治会が集めた組織)及び地元地区(区が集めた1行政区) | 地元区及び地元地区の長の二者に対し市長から施設建設の申し入れを行い、検討を依頼した   |   |
| 5      | 既存施設の老朽化が進み、安定したごみ処理を目指し更新する              | 焼却(熱回収)施設整備<br>資源化施設整備                 | 可燃ごみ、粗大ごみ、不燃ごみ資源物、及び有害ごみ(廃乾電池、廃蛍光灯)                   | キルン式ガス化溶融炉                                  | 焼却施設 258t/日<br>(86×3)<br>資源化施設 127t/5h  | 地元が反対であったため。                                | 1km周辺⇒2地区                       | 地元住民団体と交渉   | 建替を基本に交渉  |
| 6      | 施設の老朽化<br>広域処理計画に基づく                      | 中間処理施設                                 | 可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ、公立病院医療廃棄物(感染性以外)、最終処分場掘起残渣、下水汚泥の一部     | 22年度焼却残渣の処理方法決定                             | 149t/日                                  | 施設建設における行政の姿勢を地元区に示すため<br>まず、アセス同意          | 候補地の属する地元2区                     | 候補地の地元区に設置された「施設対策委員会」と相談して進めている  | 関係区・隣接区(8区)等で説明、懇談会、先進施設視察を実施<br>「広報〇〇別冊版」を全戸配布       |
| 7      | 現有施設の老朽化に伴う新施設の整備                         | DOB方式で新しいごみ処理施設整備と運営を行う                | 一般廃棄物(処理不適物を除)<br>可燃・粗大ごみ、可燃・不燃残渣、汚泥・し渣、災害廃棄物、不燃・粗大ごみ | 流動床式ガス化溶融方式                                 | 160t/日<br>(80×2)<br>リサイクルセンター<br>11t/5h | 隣接地に建設することになり、用地買収のための地元合意は不可欠              | 半径500m範囲<br>3自治会、工業団地内2団体       | 交渉窓口「地元検討委員会」を地元で作ってもらい、説明、要望収集を行った   | 土地所有者全員が建設に協力するとの結果を受け自治会臨時総会を開催し説明した                 |
| 8      | 現有施設の老朽化に伴う新施設の建設(処理広域化、効率化、集約化)          | ごみ焼却施設及びリサイクル推進施設の整備                   | 可燃ごみ・不燃ごみ・資源物・粗大ごみ                                    | 4種類から選択                                     | 110～120t/日<br>リサイクル 40t                 | 事業を円滑に進めるためには、建設予定地周辺住民の理解と協力が不可欠           | 建設予定地の連合自治会(3地区自治会)             | 建設予定地の市が中心となって、自治会を通じて、住民へ説明会、協議、交渉   | 住民一人ひとりに理解が広まり、納得していただくよう粘り強く、説明会などを行った。現在もやっている      |
| 9      | 可燃ごみを処理する焼却施設を平成25年度の稼働を目標に整備             | ごみ焼却施設                                 | 可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみを資源化した後の残さ                              | 全連続燃焼式ストーカ炉                                 | 288t/日<br>(114×2)                       |   | 建設地敷地境界から概ね半径500mに係る自治会等        | H14.1～H16.3 新ごみ処理施設整備基本計画検討委員会<br>H18.11～現在 新ごみ処理施設整備市民検討会<br>H21.11～現在 衛生組合地元協議会 |   |
| 10     |   |  | 可燃ごみ・不燃ごみ・資源物・粗大ごみ                                    | キルン式熱分解ガス化溶融炉<br>衝撃型回転式破碎機<br>切断機+磁力選別機     | 140t/日<br>(70×2)<br>不燃ごみ 30t/5h         | 地元地区から建設候補地の立候補があった                         | 1自治会                            |   |   |
| 11     | 広域圏を構成する3市の施設老朽化のため、広域圏内のごみを集約させ処理する施設の整備 | 熱エネルギー回収、発電等の余熱利用、周囲の環境保全を踏まえた新ごみ処理施設  | 一般廃棄物(可燃ごみ)   | 全連続燃焼ストーカ方式                                 | 255t/日<br>(85×3)                        | 建設反対があったため                                  | 建設予定地自治会(隣接自治会には説明会のみ)          | 建設予定地自治会が、ごみ処理施設対策委員会を立ち上げ、そこを窓口として協議を進めた   | 地元住民と何度も説明会、先進地視察などを重ね、ごみ処理施設に対する理解を深めてもらった           |
| 12     | 清掃工場が供用開始から30年以上経過し老朽化、27年4月の供用開始を目指す     | 処理対象物の適正処理、生活環境保全、有害物質削減、エネルギー回収等を推進する | 可燃ごみ、破碎後可燃残渣、下水汚泥等(し渣、沈渣含む)し尿汚泥等(し渣、沈渣含む)不燃ごみ、粗大ごみ    | 可燃ごみ処理施設:<br>応募事業者が提案する処理方式<br>破碎選別処理施設     | 341t/日<br>破碎選別処理施設:46t/日                | 迷惑施設とされ、事前に地元住民の理解を得る施設建設候補地の用地買収が必要        | 周辺22町会                          | 連合会会長⇒西部地区協議会会長⇒周辺22町会会長説明会、建設候補地見学会  | 事業の進捗に応じ説明会を開催<br>地権者説明会<br>環境影響評価準備書について市民を対象とした説明会等 |
| 13     | 4市が共同で利用するごみ処理施設の整備                       | 焼却施設、リサイクル施設、管理棟等、附帯施設建設及びDOB方式による運営管理 | 可燃ごみ・不燃ごみ・資源物・粗大ごみ                                    | 焼却炉+灰溶融炉orガス化溶融炉<br>リサイクルセンター<br>破碎、選別、保管設備 | 420t/日<br>リサイクル140t/5h<br>地域計画見直し予定     | 地元から中間処理施設、最終処分場の陳情・応募⇒H18.3に4市決定、H19.11県決定 | 建設応募した自治会                       | 地元からの陳情   | 陳情の取り下げが行われないよう配慮した                                   |
| 14     | 4つの可燃物処理施設が老朽化し、「ごみ処理広域化実施計画」に基づき新処理施設を建設 | 本圏域内の1箇所新たな可燃物処理施設を建設                  | ①可燃ごみ②廃プラスチック③しさ④その他(災害ごみ)                            | 施設整備基本計画策定時(機種選定時)に決定                       | 330t/日<br>詳細は現在改定中の一般廃棄物処理基本計画で決定       | 建設予定地の大半が地元集落有地のため                          | 建設予定地所有の集落                      | 地区の区長に環境影響評価実施のお願い<br>区長会や各集落に説明会や先進地視察を要請  | 地元で話が降りる前に新聞報道され、感情論から地元交渉の大きな壁となっている<br>マスコミ対策       |

|    | 地元要望事項  | 譲歩した点  | 地元説明会について  |                          |   | 地域還元施設について   |                          | 住民協定                            | 事業費<br>(事業方式等)        | 使用開始<br>(予定)年度   |                              |
|----|---|--|--|--------------------------|---|--|--------------------------|---------------------------------|-----------------------|--|------------------------------|
|    |   |  | 回数・時期  | 対象                       | 内容  | 施設の種類・内容・決め方   | 地元雇用                     |                                 |                       |  |                              |
| 1  |   |  | H15～H20<br>月1回   | 協議会<br>(地域全体は年1<br>回)    |   | なし   | 配慮する                     | 公害防止協定書                         | DBO                   | 2009.1   |                              |
| 2  | 余熱利用施設整備<br>周辺道路整備<br>集会所建替え  | 集会所整備の経費<br>負担範囲に譲歩                            | H16～19<br>見学会含んで6回～10回/年   | 周辺4自治会                   | H16意見交換<br>H17地域計画策定<br>H18計画・調査内容説明<br>H19地元要求事項調整           | 集会所の建設<br>周辺道路の整備<br>余熱利用施設の規模<br>公害防止対策・施設の配置計画                     | 現時点ではない                  |                                 | DBO                   | 2015.4予定<br>アクセス手続き<br>中                                   |                              |
| 3  | 道路の整備<br>水道施設等の整備<br>区民憩いの場の整備<br>地元雇用の優先   | 地域振興実施計画<br>を作成し、計画的に<br>事業を実施する               | H14～H19<br>年3～4回   | 自治会及び区                   | H14,15事業内容説明<br>H16～現場状況説明、地域振興<br>策について説明                    | 道路の整備<br>水道施設等の整備<br>区民憩いの場の整備                                       | 臨時的雇用に<br>ついては配慮<br>する   | 調査同意書<br>建設同意書                  |                       | 2011年度予<br>定<br>そろそろ試運<br>転                                |                              |
| 4  | 施設周辺の環境整備及び地元地区から寄せら<br>れていた要望に応えるべく、市内で検討を行<br>い、市から当該地区の「まちづくりにつながる<br>事業」として提案 |  | H18.1～2 11回<br>その後1回～2回/年  | 地元区及び地元<br>地区            | H18候補地の選定経過、施設建<br>設、まちづくりにつながる事業<br>H18.9測量、地質調査、環境影<br>響評価  | 小学校の環境整備、総合市民セ<br>ンター、児童センター、社会体育<br>館の改築、道路整備、消防署分<br>署の建設、余熱利用施設等  |                          |                                 |                       | 長期運営委託やDBOの導<br>入を検討                                       | 2014予定<br>アクセス手続<br>中        |
| 5  | 住民特別健康診断<br>既福祉センターの建替え、<br>間連施設の優待券等<br>生ごみ堆肥化施設の整備                              | 2回目の更新である<br>こともあり、地元か<br>らの要望事項は基<br>本的に受け入れた | H14.12<br>1回   | 8地区<br>1498世帯対象          | 施設更新の必要性<br>事業計画(施設概要、場所)<br>環境アセスメント<br>事業スケジュール             | 熱供給施設、老人福祉センター<br>建替 生ごみ堆肥化施設整備、<br>搬入路歩道の整備、不法投棄防<br>止監視体制の整備       | 工事は地元業<br>者の積極的利<br>用を検討 | 合意書(部分同意)、<br>回答書、同意書(全面<br>合意) |                       | スーパーバイザー委託業<br>務の導入で事業費縮減を<br>図った。                         | 2012.2予定<br>建設中              |
| 6  | 現段階ではなし   | 施設建設の同意は<br>アセスの結果を示<br>し、再度依頼                 | 懇談会(H20～H21)21回<br>説明会(H20～H21)15回(企業18社)<br>先進施設視察(H20～H21)11回<br>学習会(H20～H21)11回 | 地元2区、隣接<br>区、関係区の全<br>住民 | 用地選定の経過<br>施設概要(安全性・排ガス対策・<br>風評被害・メリット・デメリット等)<br>学習会(環境対策等) |  | 現時点ではない                  |                                 |                       |  | 2015予定<br>アクセス実施<br>合意       |
| 7  | 道路の側溝改修、消雪パイ<br>プの設置、舗装等  | 集落から離すよう<br>にとの要望をうけ計画<br>を変更した                | H17自治会 延べ4回<br>H18隣接自治会および団体 延べ4回  |                          | 地元窓口設置のお願い<br>事業概要説明、地元要望聴取<br>今後、この場所で交互に建て替<br>えすることの了解も得た  | 道路の側溝改修、消雪パイプの<br>設置、舗装等   |                          | 特にない                            | DBO                   |  | 2012.7予定<br>そろそろ着工           |
| 8  | 「施設建設に関する同意書」のなかで、今後、地<br>元からの要望などについて協議することとして<br>いる                             |  | H18.11～現在 36回  | 地元住民、自治<br>会、地権者         | 施設建設計画に至った経緯<br>施設の概要<br>施設建設のスケジュール概要                        |  | 可能な限り配<br>慮する            | 施設建設に関する同<br>意書                 | PFI方式等の可能性調査<br>中     |  | 2014予定<br>地元合意締<br>結         |
| 9  | 環境保全、公害防止<br>交通安全対策<br>情報公開<br>施設に異常発生時の措置  |  | H13.7各市1回づつ<br>H17.6～各市20回から38回  | 各市民                      | 新ごみ処理施設整備基本計画<br>素案、建設候補地選定説明、環<br>境影響評価、先進施設見学等              |  | 現時点で計画はない<br>要望があれば協議    | 工事協定書                           | PFI的手法導入可能性調<br>査⇒DBO |  | 2013.4予定<br>アクセス終了           |
| 10 | 地区公会堂建設、ごみ集<br>積所新設及び移転、防火<br>用水設置、地元道路改良、<br>JR線新駅設置                             |  | 2回/年   | 地元地区(3地<br>区)            | 周辺地域の環境測定結果の報<br>告  | 地区公会堂建設、ごみ集積所新<br>設及び移転、防火用水設置、地<br>元道路改良                            |                          | 協定書                             |                       |  | 2005.9                       |
| 11 | 公害防止、運転管理、環境<br>保全、地元振興事業   |  | 予定地決定後(平成13年7月～14年5月)<br>14自治会に計16回  | 近隣自治会                    | 予定地選定の経緯<br>ごみ処理施設の必要性(現状、<br>広域化の必要性)<br>ごみ処理施設の安全性          | 公害防止、運転管理、環境保<br>全、地元振興事業(公園、農園、<br>複合施設、道路、用排水、公民<br>館、ごみ集積施設整備、自治会 |                          | 住民協定                            |                       | 処理施設の見直し(灰溶融<br>施設設置をやめ、高効率<br>発電の導入)、ごみ減量化<br>による施設規模の見直し | 2012予定<br>アクセス終了             |
| 12 | 地域の住民へ説明<br>環境監視委員会の設置<br>他の新施設の見学会を開<br>催  | 特に無し   | H17.7:周辺22町会会長説明会<br>H17.7:周辺22町会会長候補地見学会<br>H17.8:1町会住民説明会<br>H17.9:地権者説明会        |                          | 新ごみ処理施設の概要、建設ま<br>でのスケジュール、建設候補地<br>の概要                       |  | 要望無し                     | 住民協定無し                          | DBO                   |  | 2009アクセス終<br>了2010造成<br>工事着手 |
| 13 | 開発区域内施設多数   | 温泉施設:余熱利<br>用で500㎡⇒温泉掘<br>削で1000㎡              | 陳情が出されてから、住民説明会、視察<br>等:約60回(県との合同開催含む)  | 建設候補地近隣<br>の自治会          | 最終処分場、中間処理施設及<br>び地元要望施設に対する事業<br>内容、スケジュール、意見集約<br>等         | 温泉施設、公園等<br>詳細は今後の協議による  | 今後の検討課<br>題              | 基本協定書<br>地元要望確定後新協<br>定締結予定     |                       | トータルコストの削減につ<br>いて検討した結果、本事業<br>はDBO方式にて実施                 | アクセス調査中                      |
| 14 | まだ地元交渉中のため未<br>定  | まだ地元交渉中の<br>ため未定                               | 説明会は30～40回程度であるが、その<br>他の話し合いについては相当数行っている。<br>地元交渉中のため今後も開催する予<br>定。              | 区会長、集落単<br>位             | 選定理由、施設の説明、環境影<br>響評価業務の説明等                                   |  | まだ地元交渉中のため未<br>定         | まだ地元交渉中のた<br>め未定                |                       | 施設整備基本計画の策定<br>時に検討予定のため、現<br>在未定                          | アクセス調査中                      |